

大気汚染の健康への影響に関するアジア太平洋コホート（Asia Pacific Cohort Consortium for Health Effects of Air Pollution）に関する情報公開

1. 研究の対象

愛知職域コホート研究にご協力頂いている中部地方の自治体職員・元職員の皆様のうち2013年に実施したアンケート調査・病歴調査と健診結果の提供にご協力頂いている方。

2. 研究目的・方法・研究期間

大気汚染物質（特に PM2.5、二酸化窒素、オゾン）への長期曝露^{*1}は、早期死亡率や心血管疾患や呼吸器疾患の疾病発症など健康に悪影響を及ぼすことが世界的に知られています。しかし、これらの研究は大気汚染濃度が中程度のヨーロッパやアメリカでのものが多く、大気汚染濃度が低値から高値と幅広いアジア太平洋地域では、限られた調査しか実施されていません。

今回私たちは、大気汚染濃度、社会的、経済的環境が異なるアジア太平洋の9か国において、大気汚染の曝露とそれに関わる死亡率や疾病の罹患率などの健康影響の関係を調べるとともに、健康に影響を及ぼさないとされる曝露範囲の有無を調査します。これらは、国内および国際的な大気汚染基準を設定するのに世界的に重要な意味を持つと考えられます。基準ができれば、大気汚染によって引き起こされる健康上の課題に対する政策や環境保護政策だけでなく都市計画、道路開発、建築などの政策にも繋がるものになると期待しており、多くの分野に貢献するものだと考えています。

具体的な目的は以下の通りです。

- 1) 最先端の機械学習手法^{*2}とリモートセンシング^{*3}を使用して、大気汚染の曝露状況を分析します。
- 2) 大気汚染物質（PM2.5、二酸化窒素、オゾン）への長期曝露と死亡率および罹患率との関係を検討します。
- 3) 年齢、性別、社会経済的特性、既存の疾患および大気汚染物質曝露の程度による影響の変化を検討します。
- 4) アジア太平洋地域の大気汚染に起因する疾病にかかる負担がどの程度か推定します。

(*1: 物質にさらされること、物質を取り込んでしまうこと)

(*2: データから、そのルールやパターンを発見・推測する手法)

(*3: 物を触らずに調べる技術のこと)

研究期間 実施承認日～2025年12月31日（予定）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・身体に関する情報（年齢、性別、人種、身長、体重、血圧）
- ・社会経済的状況（職種、学歴、居住地が都市/郊外の区分）、婚姻状況、既往歴、家族歴、喫煙習慣、飲酒習慣、身体活動、食事に関する情報

・死亡率または罹患率に関する情報

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、他機関との間で、住所の情報そのものは共有されません。その他の個人の識別に係る情報とともに、名古屋大学の研究事務局内で厳重に管理されます。

はじめに、名古屋大学の研究事務局において、住所を経緯度情報のような記号に変換し、それに対してPM2.5濃度等の地理的情報を付加します。次に、そのデータから経緯度情報や個人を直ちに識別する情報を削除し、匿名化したデータを共同研究事務局に提供します。共同研究事務局は各コホートの匿名化データを統合した解析データセットを作成します。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・教授・八谷 寛
名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・准教授・平川 仁尚
名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・講師・江 啓発
オーストラリア Monash 大学 公衆衛生大学院 健康科学分野・教授・Yuming GUO 他

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・教授・八谷 寛
名古屋市昭和区鶴舞町 65 医系研究棟 2 号館 7 階
電話 052-744-2128、FAX 052-744-2131
e-mail p-health@med.nagoya-u.ac.jp

研究代表者：

オーストラリア Monash 大学 公衆衛生大学院 健康科学分野・教授・Yuming GUO